

# 友の会 NEWS

The National Museum of Modern Art, Kyoto  
京都国立近代美術館



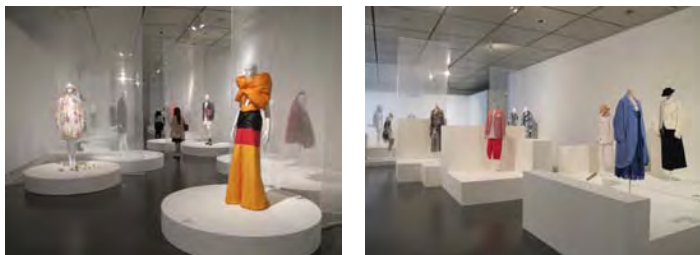
March 2014 No. 36

## 展覧会情報

### Future Beauty 日本ファッション：不連続の連続

Future Beauty: The Tradition of Reinvention in Japanese Fashion

2014年3月21日（金・祝）—5月11日（日）



「Future Beauty」展会場の様子

### Future Beauty 展 公式サイト

前号でお伝えした Future Beauty 展の公式サイトは、第三者からの不正アクセスによりサイト内に不具合が生じたため、3月31日現在、利用ができなくなっております。展覧会情報、関連イベント等は当館ウェブサイトからもご覧いただけますので、是非ご活用ください。※当友の会ニュースにおいてもできる限り同じ内容を掲載しております。

### ワークショップ「ファッションと対話」を開催

2014年3月30日（日）午前10時～12時30分

Future Beauty 展関連イベントのワークショップを開催しました。展覧会の第4章「物語を紡ぐ」に注目し、解説や、出展デザイナーの制作態度に寄りそったデザイン画の制作体験を通じて、参加者が第4章のテーマを理解するのに役立てようと企画しました。13名の参加者はペアを組んで、パートナーが着るための服のデザイン画に描き上げ、最後はそのデザイン画を、ドレスコードで指定した白い服に映し出して試着しました。



解説と制作の様子



発表の様子



### 次回展覧会

上村松篁展 2014年5月27日（火）—7月6日（日）

上村松篁は明治35（1902）年、日本画家・上村松園の長男として京都市内に生まれます。大正10（1921）年、京都市立絵画専門学校に入学すると共に西山翠嶂に師事、13年同校卒業後は研究科に進みました。本展覧会は、母・松園譲りの「品がある」作品を追求し続けた



上村松篁《孔雀》昭和58年  
京都国立近代美術館蔵

松篁芸術の軌跡を詳細に紹介する大規模な回顧展です。《樹下遊禽》、《孔雀》、《丹頂》等の代表作を含む初期から晩年に至るまでの本画約75点と素描、挿絵原画により、近現代の京都画壇において格調高い花鳥画を描き続けた上村松篁の足跡をたどります。

### 連続レクチャー 全て要申込

#### 第一回「京都の伝統、現在から未来へ—革新と挑戦」

串野真也氏（MASAYA KUSHINO デザイナー）

×細尾真孝氏（株式会社細尾 取締役）

※こちらのレクチャーは終了しました。

#### 第二回「色を着る、色を脱ぐ—アンリアルエイジと京都の技術」

森永邦彦氏（ANREALAGE デザイナー）

日時：2014年4月19日（土）午後2時～3時30分

※こちらのレクチャーは定員となりました。

#### 第三回「いま、輝く燈火を—伝統とモードをつなぐ」

堀畑裕之氏+関口真希子氏（matohu デザイナー）

日時：2014年5月3日（土）午後2時～3時30分

※4月7日（月）より受付開始です。

会場：京都国立近代美術館 1階講堂

定員：100名（要申込）

※聴講無料、未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ・申し込み先

京都服飾文化研究財団（KCI）

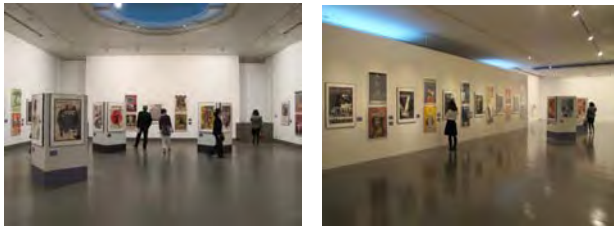
電話：075-321-9221

（月～金、午前9：30～午後5：00）

4階コレクション・ギャラリー

チェコの映画ポスター テリー・ポスター・コレクションより

Czech Posters for Films From the Collection of Terry Posters 2014年3月21日(金・祝) - 5月11日(日)



「チェコの映画ポスター」展会場の様子

講演会

「チェコ・ヌーヴェル・ヴァーグの時代」

ペトル・ホリー氏 (チェコセンター前所長/チェコ蔵代表)

日時: 2014年4月26日(土) 午後5時~6時30分

※聴講無料、当日午後1時30分から講堂入口にて整理券配布

友の会特別解説会

日時: 2014年4月27日(日) 午前11時30分~12時

集合場所: 当館1階ロビー

集合時間: 午前11時25分

募集人数: 先着10名

解説者: 池田祐子(当館主任研究員)

申し込み先: 京都国立近代美術館 事業係

電話: 075-761-4115

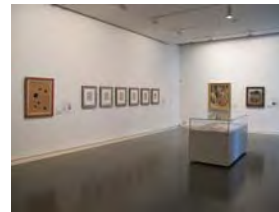
(月曜から金曜まで午前10時~午後5時)

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

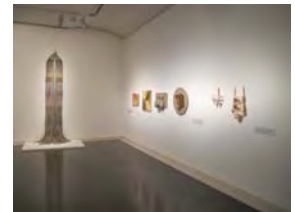
平成26年度 第1回コレクション展

3月21日(金・祝) ~ 5月11日(日)

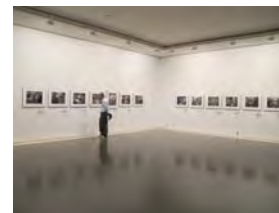
第1回コレクション展では、3階企画展と4階で開催中の「チェコの映画ポスター」展に関連する展示を数多く行っています。入口すぐの場所に、2013年度に購入したマックス・エルンストとフランシス・ピカビアの作品を、日本画では今年生誕120年を迎える甲斐庄楠音の作品を特集しました。写真コーナーでは、都築響一のシリーズ「着倒れ方丈記」を特集展示しております。工芸では、テキスタイルまたはファイバー・ワークの分野で、欧米・日本で新たな表現様式を模索した1960年代以降の染織の作品などをご覧ください。洋画は、戦後の混乱の時機に新たな抽象表現を模索した作家たちの活動を紹介します。その他、「Future Beauty」展の共催者である、京都服飾文化研究財団と1999年に開催した「身体の夢」展の出品作家であるピピロッチェ・リストなどの作品を、現代美術コーナーで紹介しております。



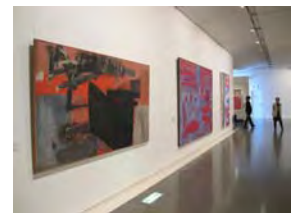
エルンストとピカビア



1960年代以降の染と織



都築響一 〈着倒れ方丈記〉



戦後美術の出發

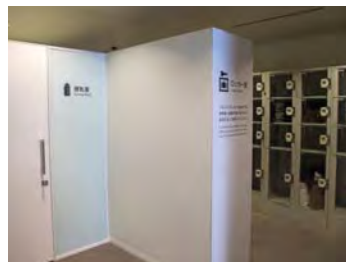
美術館のロビーから見えるさくらももうすぐ満開です



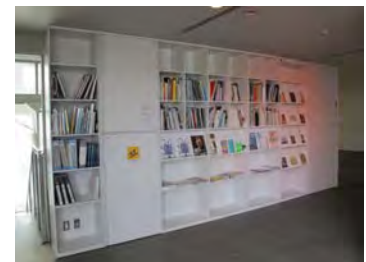
約2カ月の休館を経て、3月21日に開館しました。この度の改修工事では、皆さんがご利用になるエレベーターやトイレ、4階の図書コーナーを新たにし、ロッカー室の隣には授乳室を設けました。トイレはかねてから要望が多かった洋式を設置しました。来館の際には館内の変化にも注目してみてください。



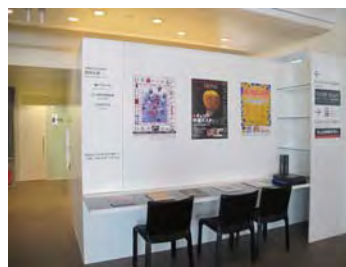
ロビーから見える桜



新しく設置した授乳室(左の扉)



4階の図書コーナー



1階トイレ入口付近



エレベーター内の様子

京都国立近代美術館賛助会員・一般会員  
当館は下記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

